

「防災・減災製品の開発・製作」は山小電機製作所へ 最新鋭レーザー加工機導入で さらなる挑戦を！

山小電機製作所

山小電機製作所（大田区東糀谷、小湊清光社長、03・5735・3311、<http://www.yamakodenki.co.jp>）は、創業以来83年、各種通信機器の設計・製作・施工に携わり、発展する情報通信業界に幅広く貢献してきた。

今年度から、MAZAK製 型鋼レーザー加工機 3D FABRI GEAR 220IIを都内で初めて導入し、生産設備の近代化を図った。特注品の設計や型鋼長尺物の複雑な加工などさまざまなニーズに対応できる。

同社が独自に開発した製品を何点かご紹介したい。柵収納物落下防止装置「**落下センサー**」は、設定可能な地震加速度の数値をセンサーが感知し、扉のない柵の水平レベルに収まっている保護バー付き蛇腹が自動で跳ね上がり、柵内で倒れたビンや本など収納物の形状を問わず落下を防止する。初期の揺れを感知してセンサーが起動するので、普段は電源を必要としない。既存の本柵やパイプシエルフに後付けが可能で、同センサーを組み込んだオリジナルスチール柵も開発中である。

「**耐震ワゴンキャッチャー**」は、キャスター付きのワゴンや液晶テレビ用スタンドを使用していないとき壁際に安全にワンタッチで固定できる器具だ。使用時には指一本で解除できる。北陸・北海道新幹線でも各駅の耐震対策品として、測定器の台車を固定するために導入されている。

「**ブームキーパー**」は、ユニック車などクレーンを上げたままの走行を防止する装置。送信部と受信部で構成され、送信部はユニック車の起点に、受信部は運転席のダッシュボードに装着する。ブームが上がった状態で運転席に乗り込むと、受信部の警報ランプの点灯および警報ブザーの鳴動により、架空線上のケーブル切断や橋桁への接触事故を未然に防止することができる。

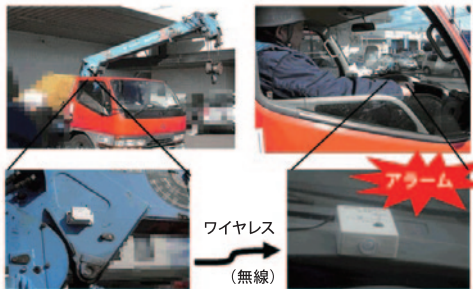


都内初導入！
レーザー加工機 3D FABRI GEAR 220II



柵収納物落下防止装置「落下センサー」

【ブームを上げた状態（20度以上の角度）】&【運転席に乗り込む】
⇒「アラーム」



【傾斜センサ付送信部】 【人体感知センサ・警報発生機能付受信部】

接触事故を未然に防止する！「ブームキーパー」